

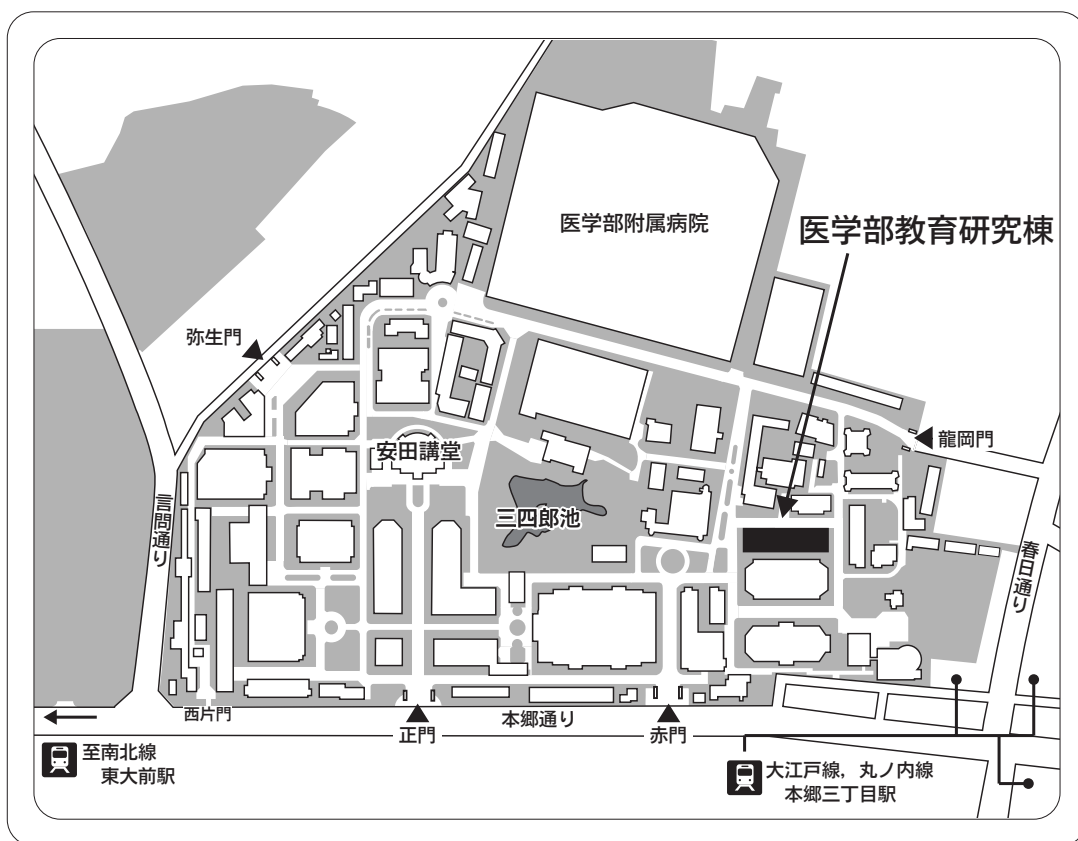
第 567 回

日本小児科学会東京都地方会講話会

プログラム

日 時 平成 21 年 7 月 18 日 (土) 午後 2 時 00 分

場 所 東京大学鉄門記念講堂(医学部教育研究棟14階)



演題の申し込みについて

1. 講話会の当日、文書で提出、もしくは e-mail で事務局宛送ってください。
2. 抄録 (160字以内) をおつけください。
3. 原則として指定発言をつけてください。
4. 演者、指定発言者は、当日二次抄録 (200字以内) を提出してください。(日本小児科学会誌掲載の為)

世話人

プログラム係
東京大学小児科 03 (3815) 5 4 1 1 内線 3 3 4 5 3
直通 (FAX) 03 (3816) 4 1 0 8

会場係
東京大学小児科 03 (3815) 5 4 1 1 内線 3 3 4 5 3
直通 (FAX) 03 (3816) 4 1 0 8

事務局 03 (5388) 7 0 0 7
e-mail: jpstokyo-office@umin.ac.jp

第 567 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1 題 6 分, 指定発言 5 分, 追加討論 3 分以内, 厳守のこと。○印演者)

第 1 グループ 14:00—14:35

座長 川越 信 (同愛記念病院小児科)

1) 総動脈幹遺残に気管支軟化症を合併した 3 例

○澤田 理恵, 佐藤 智幸, 根岸 佳慧, 大槻 将弘, 佐藤 圭子,
高橋 健, 稀代 雅彦, 秋元かつみ, 清水 俊明 (順天堂大学小児科)

症例は総動脈幹遺残の新生児。総動脈幹から起始する肺動脈は細く, 心不全症状はみられなかったが, 日齢 5 に呼吸状態が悪化し人工呼吸管理とした。しかしその後も突然生じる換気不全を繰り返し, 気管支鏡より気管支軟化症と診断した。総動脈幹遺残に気管支軟化症を合併した報告例は少ないため, これまでに当院で経験した 2 例と合わせて報告する。

指定発言 長谷川久弥 (東京女子医科大学東医療センター周産期新生児診療部)

2) マイコプラズマおよびクラミドフィラ IgM 抗体陽性が持続したりウマチ熱の 1 例

○新庄 正宜, 河野 美緒, 山岸 敬幸, 高橋 孝雄 (慶應義塾大学小児科)
前田 由美 (聖母病院小児科)

8 歳男児。発熱, 肘, 膝の移動性関節腫脹, 赤沈亢進, ASO 高値よりリウマチ熱と診断, ペニシリン奏功。心臓, 神経, 皮膚合併症なし。Mycoplasma pneumoniae, および Chlamydophila pneumoniae IgM 抗体陽性が持続したが, 臨床経過から非特異的所見であると考えられた。

3) 喘息自然寛解, 未寛解の思春期兄弟姉妹 4 組のフロー・ボリューム (FV) 曲線

○近藤 信哉, 小保内俊雅, 小濱 雅則,
塩津 麻美, 二宮 康高, 玉川 公子

(東京都保健医療公社多摩北部医療センター小児科)

思春期に 1 秒量が正常化したにもかかわらず, 依然として感染誘発喘息, 遅発性喘息反応を生じる 4 人の FV 曲線を, 喘息寛解同胞の FV 曲線と比べた。未寛解児では FV 曲線下降脚が平坦であったり, 1 秒率が高い傾向にあった。寛解児では FV 曲線下降脚が下に凸であった。例数は少ないが, 喘息寛解において気道リモデリングの必要性が示唆された。

第 2 グループ 14:35—15:30

座長 豊田 彰史 (東京大学医学部小児科)

4) 尿閉・便秘で発症した処女膜閉鎖症の 1 例

○山本 恭平, 後藤 美和, 岩田 敏, 込山 修, 興石 薫,
松原 啓太, 有馬ふじ代, 桜井 倫子, 岡田 隆文, 緒方 大輔,
松島 崇浩, 藤村 公乃, 白井 晴己 (東京医療センター小児科)

症例は 14 歳女児。尿閉・便秘を契機に処女膜閉鎖と診断された。処女膜閉鎖症の多くは思春期まで無症状であり, 月経発来後, 子宮および膣留血腫による腹痛, 腹部腫瘍, 腰痛, 排便障害, 排尿障害など様々な症状を呈する。本疾患はまれな疾患であるが, 思春期女児の様々な腹部症状の鑑別疾患として重要であるため, 文献的考察を加えて報告する。

指定発言 上野 和典 (東京医療センター産婦人科)

5) Bombay 型の母から出生した新生児の 1 例

○黒澤 照喜, 榊原 裕史, 小鍛冶雅之, 寺川 敏郎, 横路征太郎 (都立府中病院小児科)
五十嵐朋子, 中原美千代 (同 輸血科)

非常に稀な血液型である Bombay 型の母から出生した新生児例を経験した。出生直後の血液検査では貧血, 高ビリルビン血症を認めなかったが, 日齢 3 の時点で高ビリルビン血症出現し, 光線療法を施行した。Bombay 型の母より出生した児は血液型不適合による重症黄疸発症の可能性がある。出生前の検査や出生後の黄疸管理法について文献的考察も含め報告する。

指定発言 土田 晋也 (都立墨東病院新生児科)

6) 消化管穿孔を来したアレルギー性紫斑病の 1 例

○長 佳美, 森川 和彦, 長谷川行洋 (東京都立清瀬小児病院総合診療科)
坂井 智行 (同 腎臓内科)
小森 広嗣, 鎌形正一郎 (同 外科)

アレルギー性紫斑病は小児で最もよく見られる血管炎であり, 基本的には自然軽快する良性疾患であるが, まれに腸重積や消化管穿孔といった重篤な外科的合併症を来す。治療抵抗性で慢性的な経過を辿り, 消化管穿孔を合併した 1 例を経験したので経過を詳細に報告し, 過去の報告例との比較検討を通じ要注意因子についての考察を行う。

指定発言 廣部 誠一 (東京都立清瀬小児病院外科)

7) Steroidphobia に発症した Kaposi 水痘様発疹症の 1 例

○中川 知亮, 内野由美子, 佐藤 真理,
松裏 裕行, 小原 明, 佐地 勉 (東邦大学医療センター大森病院小児科)
板倉 佐和, 関東 裕美 (同 皮膚科)

9 カ月男児。左耳介周囲から全身に広がる水疱および発熱で来院。以前よりアトピー様皮疹には steroidphobia のためワセリンを塗布。Kaposi 水痘様発疹症の診断で, アシクロビルの点滴静注および軟膏処置を行なった。最近当院で経験したその他の症例を含め, 文献的考察を加えて報告する。

休 憩 15:30—15:40

感染症だより 15:40—15:50

座長 山本 光興 (山本小児科)

多屋 馨子 (国立感染症研究所感染症情報センター)

教育講演 15:50—16:30

座長 内山 浩志 (内山こどもクリニック)

小児の上気道狭窄

市村 恵一 (自治医科大学医学部耳鼻咽喉科)

小児の気道が成人の特質を備えてくるのは 10 歳を過ぎてからである。新生児期には口呼吸ができないとされてきたが, それは否定されている。気道のサイズが小さいので, 粘膜の腫脹は直ちに気道狭窄につながる。さらに酸素消費量が成人の 2 倍もあり, それを呼吸数の増加で補っているため, 気道が狭窄すると直ちに重症化しやすい。喉頭や気管の軟骨は発育が未熟で, その虚脱が狭窄に結びつく。最も狭い部分である声門下部の粘膜上皮と結合組織間は疎で浮腫がおこりやすい。出生後 1 年間の気導径の増加は著しく, それ以後は管理が楽になる。

第3グループ 16:30—17:15

座長 疋田 敏之（帝京大学医学部小児科）

8) BCG 骨髄炎の1例

○川口 隆弘, 小穴 慎二, 阪井 裕一（国立成育医療センター総合診療部）
上山 伸也（同 感染症科）
池田 幹則, 関 敦仁（同 整形外科）

基礎疾患のない2歳児の、予防接種後1年経過して発症したBCG由来の骨髄炎症例を経験した。不明熱と左上肢疼痛にて発症したが、経過や検査所見からは確定診断しえず、骨髄生検を行い確定診断に至った。骨髄標本より抗酸菌が陽性であり、遺伝子検索によりBCG種と診断した。診断・治療に苦慮したため、文献的考察とともに報告する。

指定発言 宮川 知士（都立清瀬小児病院呼吸器科）

9) フランス人学校でのエンテロウイルスによる髄膜炎の流行例

○遠山 真澄¹⁾, 衛藤 薫¹⁾, 荘司 貴代¹⁾²⁾, 吉川 陽子¹⁾,
唐木 克二¹⁾, 坂内 優子¹⁾, 大澤真木子¹⁾
（東京女子医科大学病院小児科¹⁾,（同 感染症科²⁾）

当院で短期間に経験した、フランス人学校でのエンテロウイルスによる髄膜炎流行について文献学的考察を含め報告する。発熱、頭痛、嘔吐で受診した20症例のうち髄膜刺激症状を呈した5症例に腰椎穿刺施行し、エコーウイルス30を検出した。感染経路は糞口または飛沫感染であり保健所の介入と、スタンダードプリコーションで対処した。

10) 急性期頭部MRI 拡散強調画像で高信号域を認めた遅発型GBS 髄膜炎の1例

○戸塚 真紀, 鎌田 彩子, 山田 浩之, 五十嵐鮎子, 中尾 彰裕,
倉繁 朋子, 水野 恵, 加藤麻由子, 福永 英生, 海野 大輔,
大高 正雄, 山下進太郎, 大友 義之, 新島 新一（順天堂大学練馬病院小児科）

2カ月女児。発熱、不機嫌、哺乳不良で来院。WBC2000/ μ l, CRP1.48mg/dl, 髄液細胞数400/3 μ l, Latex凝集法でGBS陽性であり抗菌薬, DEX, IVIGを投与した。発症14時間後に右半身優位の痙攣を認め、MRI (DWI) で左側頭葉に高信号域を認めたが、20病日には消失し神経学的後遺症なく退院した。

11) ロタウイルス感染に伴い可逆性脳梁膨大部病変を有する脳症を呈した2例

○西川 英里, 荒川千賀子, 石井和嘉子, 遠藤あゆみ,
小平隆太郎, 淵上 達夫, 藤田 之彦, 麦島 秀雄（日本大学小児科）
鬼田 智子, 泉 裕之（板橋区医師会病院小児科）

可逆性脳梁膨大部病変を有する脳症（MERS）の2例を経験した。症例はいずれも3歳の男児で、インフルエンザの流行期であったが胃腸炎症状に続き意識障害を発症した。2例とも便中ロタウイルス抗原が陽性で、低Na血症を認めた。拡散強調画像での脳梁膨大部の高信号は可逆的で症状の改善も速やかであった。文献的考察を加え報告する。

【運営委員会だより】

1. 6月の講話会出席者は265名、新入会員9名、退会者0名、ベビーシッタールーム利用者は5名でした。
2. 7月の講話会は3グループ11演題の予定です。
3. 9月の講話会から12月の講話会までプログラム委員は、東京大学にお願いすることになりました。

(文責) 東京都地方会事務局

【演題の申し込みについてのお願い】

- 動画が含まれる場合には、その旨を明示して下さい。動画使用の場合には、具体的な注意事項を、折り返し事務局よりご連絡いたします。
- 原則として指定発言をつけて下さい。
- 演題の締切は次のようになります。

講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切
1月	前年11月30日	2月	前年12月31日	3月	1月31日
5月	2月28日	6月	4月30日	7月	5月31日
9月	6月31日	10月	8月31日	12月	9月31日

申込演題が12題以上になった場合、さらに1回先になることがありますのでご了承ください。
その場合、事務局よりご連絡します。

【演者の先生方へのお願い】

一次抄録は160字以内に。また、二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の200字以内を厳守くださるようお願いいたします。(原稿は活字もしくはワープロ文字で)

出席した会員に発表の意味をより強く、明確に伝えるために、最後(または適切な時期)にTake Home Message(この発表から学ぶこと)を手短な一文で記したスライドを付け加えて頂くようお願いいたします。

【会員登録事項の変更届についてのお願い】

- 自宅、勤務先の住所(プログラム送付先)等の変更または、改姓があった場合は、速やかに東京都地方会事務局までご連絡下さい。登録事項変更届出用紙をご送付いたします。
- 退会される場合も必ずご連絡ください。そのお届けがない場合は次年度も継続として年会費の請求を致します。

東京都地方会事務局 TEL: 03 (5388) 7007/FAX: 03 (5388) 5193

Presentation について

発表は Computer Presentation (Windows) のみで受け付けます。Powerpoint 2000 以上で作成、Font 文字は Powerpoint 備え付けのみ。CD-R もしくは USB メモリーにて、第 1、2 グループ発表者は午後 1 時 30 分までに、第 3 グループ以降の発表者は午後 3 時までにスライド受付まで持参して下さい。機器操作は、当方で行います。あらかじめウイルス check をお願いいたします。

動画が含まれる場合には、ファイルのセーブ法などの注意事項がありますので、学会事務局に必ずご連絡ください。なお、当日なんらかの理由でうまく作動しない場合には、動画なしでご発表いただくことになることをご了承ください。

※ Vista には未対応です。Mac は使用できません。あらかじめファイルを Windows にて保存し直した上でご持参ください。

〈ベビーシッタールーム開設のお知らせ〉

乳幼児を同伴される方のために、ベビーシッタールームを開設します。利用ご希望の方は、利用日の 1 週間前までに事務局へお申し込み下さい。申し込みの際、お預けになるお子様の氏名・年齢・性別・及び預けられる時間帯を伺います。利用当日、お子様が好きな食べもの・飲料・おもちゃ・着替え・おむつなどに名前を付けてご持参下さい。また申し込み受付後、問診票に記載していただきますことをご了承下さい。キャンセルされる場合は、3 日前までにご連絡をお願いします。なお費用は学会が負担いたします。

日本小児科学会東京都地方会事務局 TEL 03-5388-7007/FAX 03-5388-5193

WAKODO

乳幼児用イオン飲料

アクアライト ORS

乳幼児の電解質・水分補給を新提案！

水分・電解質の吸収率を高めるため、浸透圧を 200mOsm/L と低くしています。

酸味を抑え、乳幼児が飲みやすいりんご風味です。

人工甘味料・保存料等は一切使用しておりません。



125mL×3個パック



乳幼児にとって理想的なバランスで電解質を補うことができます。
125mLの飲み切りサイズです。

和光堂株式会社

お客様相談室フリーダイヤル
0120-88-9283

●インターネットで和光堂情報を提供しています。http://www.wakodo.co.jp